



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・指定個所にはシーリング処理をしてください。
 - ・シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)
 (ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■取付け上のお願

●本製品は土間納まり専用の商品です。その他に使用する場合は防水処理を行ってください。

■使用ねじ一覧

①	②	③
皿木ねじ $\phi 3.8 \times 45$	ナベタッピンねじ $\phi 4 \times 25$	スクリュー釘 $\phi 2.1 \times 25$

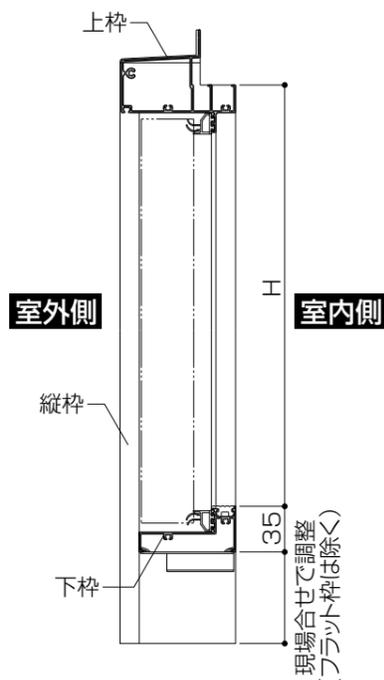
■取付け順序

1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振りで前後・左右の狂いや柱同士のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。

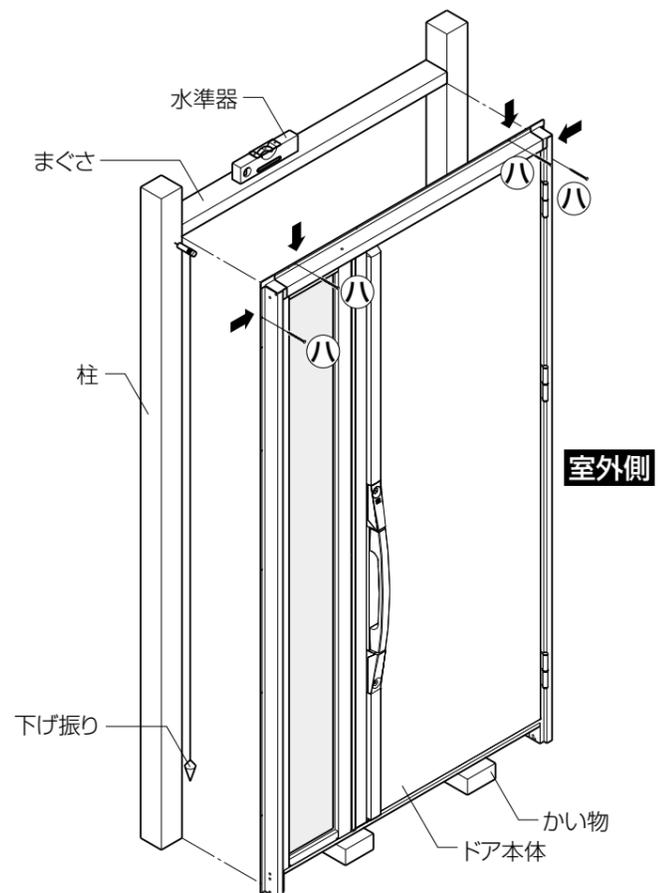
■製品基本寸法

タイプ	W	H
30単体	924	2330
45片袖	1240	2330



2 枠の仮止め

- 扉を枠に吊込み、一体にして開口部に仮止めします。
→印付近に、仮止め用の釘穴(長穴)があります。



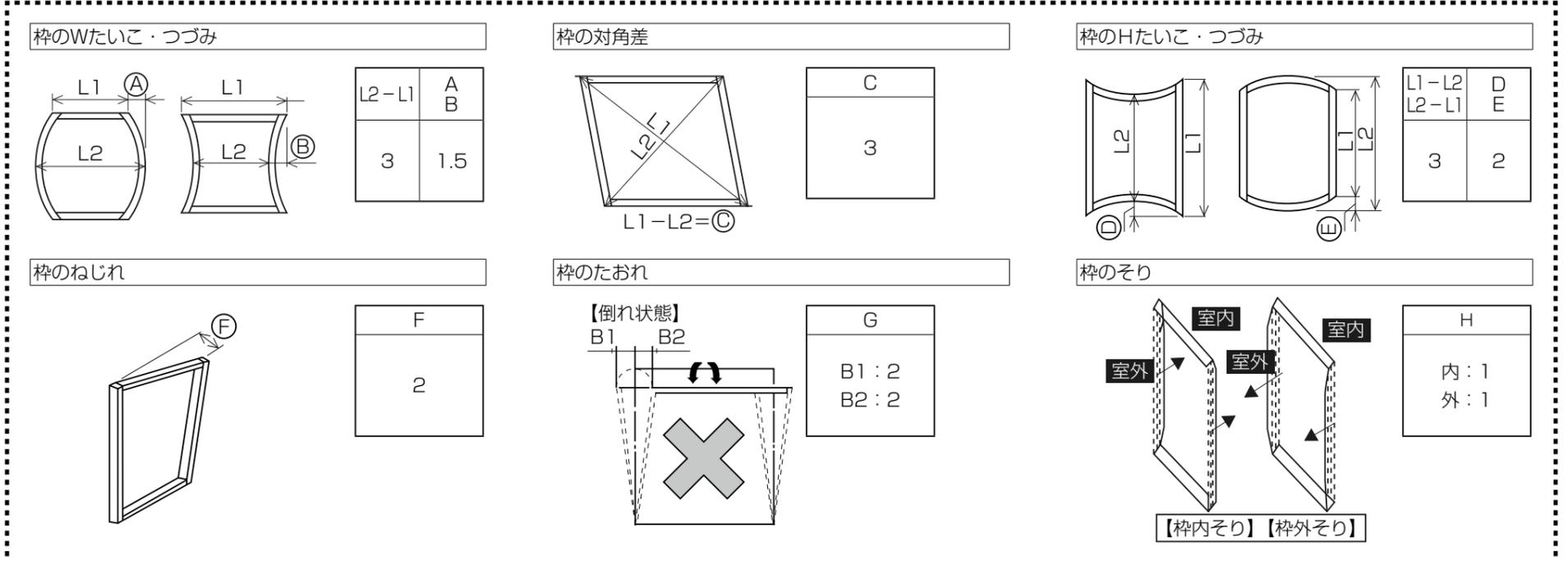
3 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

①上下(⇄)および、左右(⇄)のすき間を均等にし、戸当り気密材が密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。又、片袖枠の方立がつつみにならないように調整してください。

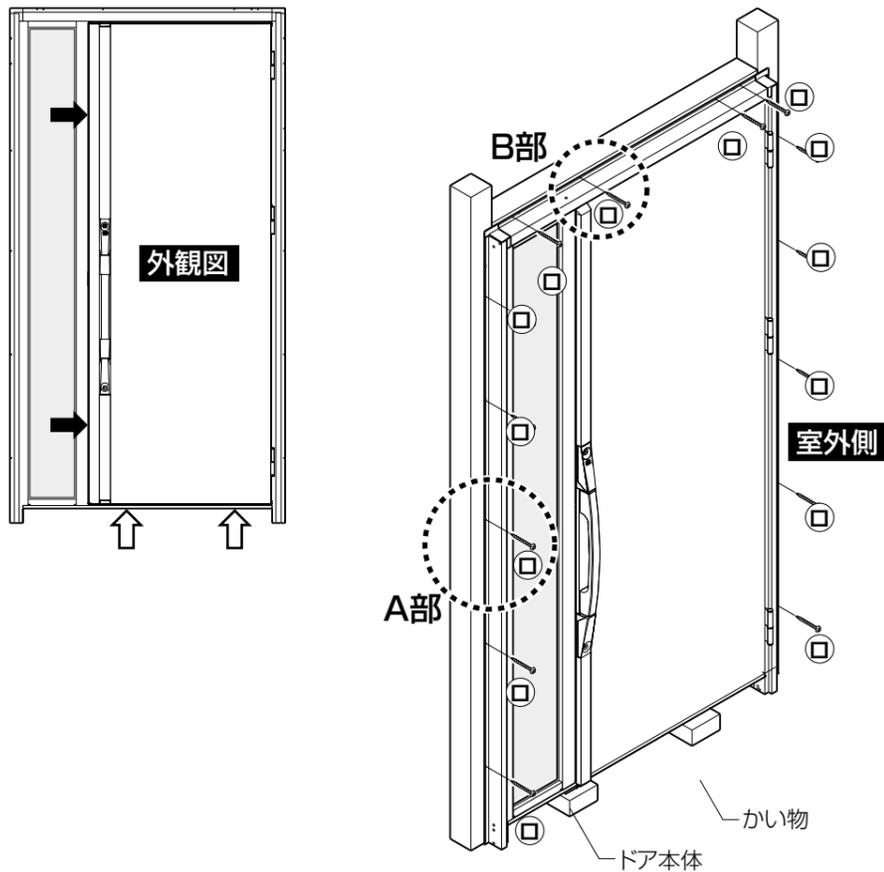
▲ 注意

● ドア本体に錠セットを取付け、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合は、ラッチボルトおよびデッドボルトを掛けてください。

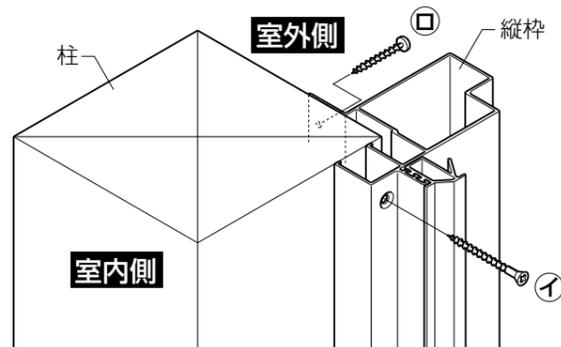
※躯体に固定する際に枠が下記の寸法になっているかを確認して取付けてください。



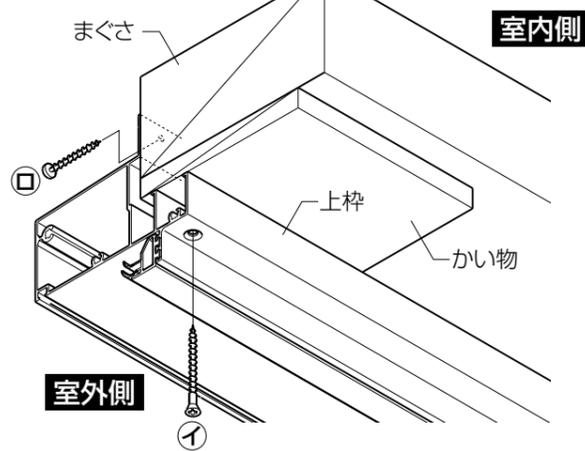
■チリの調整



■A部詳細図



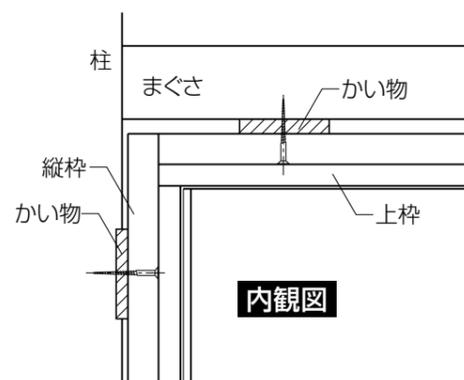
■B部詳細図



②枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、固定してください。
 ※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

■コンクリート納まりの場合

● アンカーは別売りを使用します。取付け説明書はアンカーセットの中に同梱してあります。



4 ストライクの調整

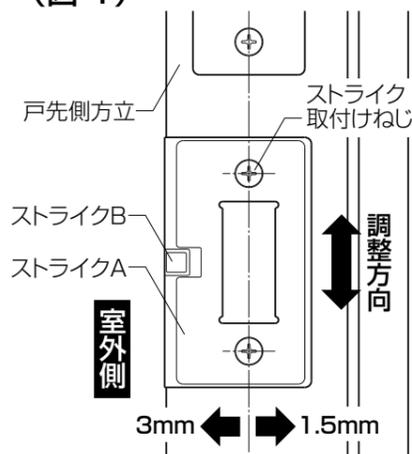
●ドアロックのラッチがかからない場合やガタツキがある場合は、右図を参考にストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクA・Bの位置を調整してください。

- ①ストライク取付けねじをゆるめ、ストライクA(表板)を動かして調整してください。(図-1)室外側に3mm、室内側に1.5mm動きます。
- ②ストライクAで調整しきれない場合は、ストライクA・B(表板+裏板)ごと動かして調整してください。(図-2)さらに室外側へ2mm動きます。(合計5mm動きます)

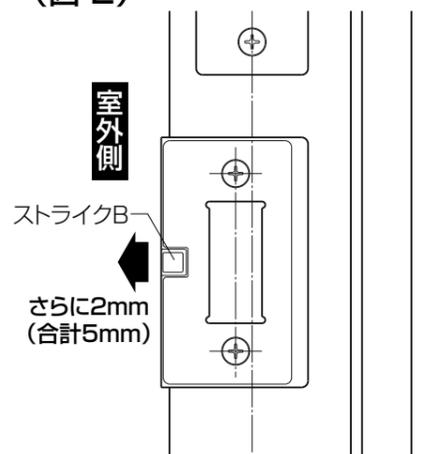
お願い

※ストライク取付けねじを全部外さないでください。
トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。

(図-1)



(図-2)

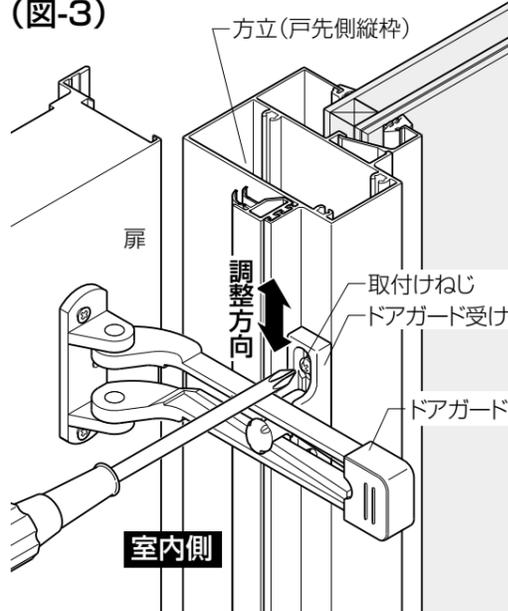


5 ドアガードの調整

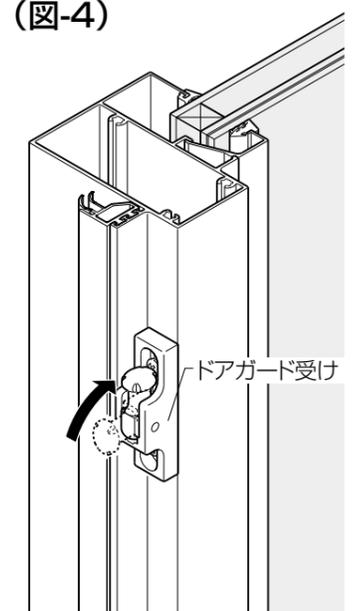
※ドアガードが受けに掛らない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

- ドアガードアームがスムーズに操作できるか、確認してから本固定してください。(図-3)
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を収納してください。(図-4)

(図-3)



(図-4)



■建付け調整

※本体を吊込んだ後、枠と本体のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。
すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。
(納まりは4/4「参考納まり図」を参考にしてください。)

1 左右方向のすき間の調整

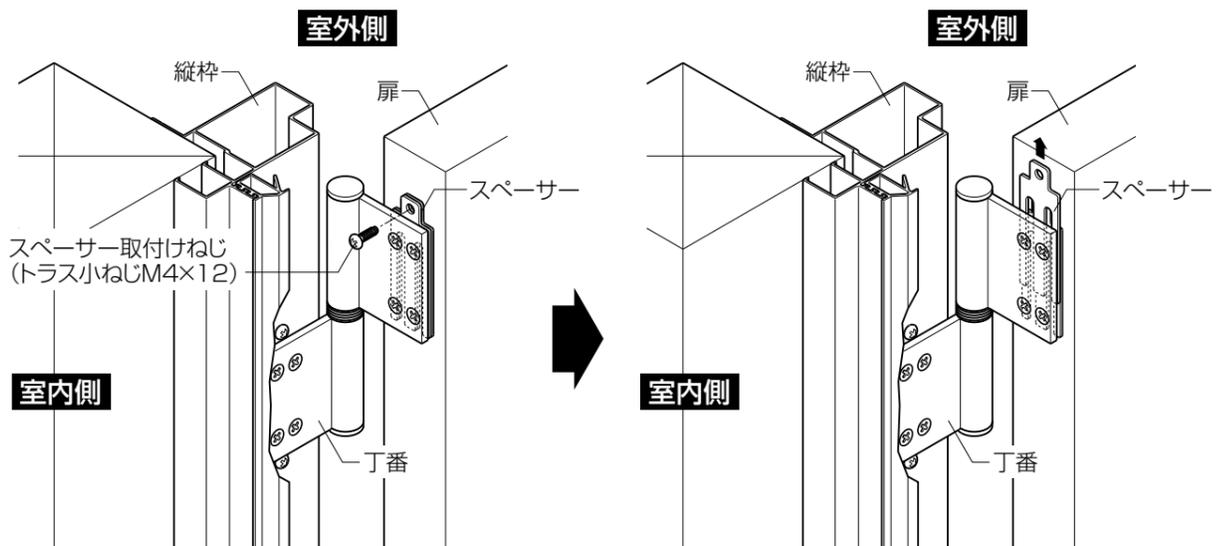
※スペーサーは、あらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

▲注意

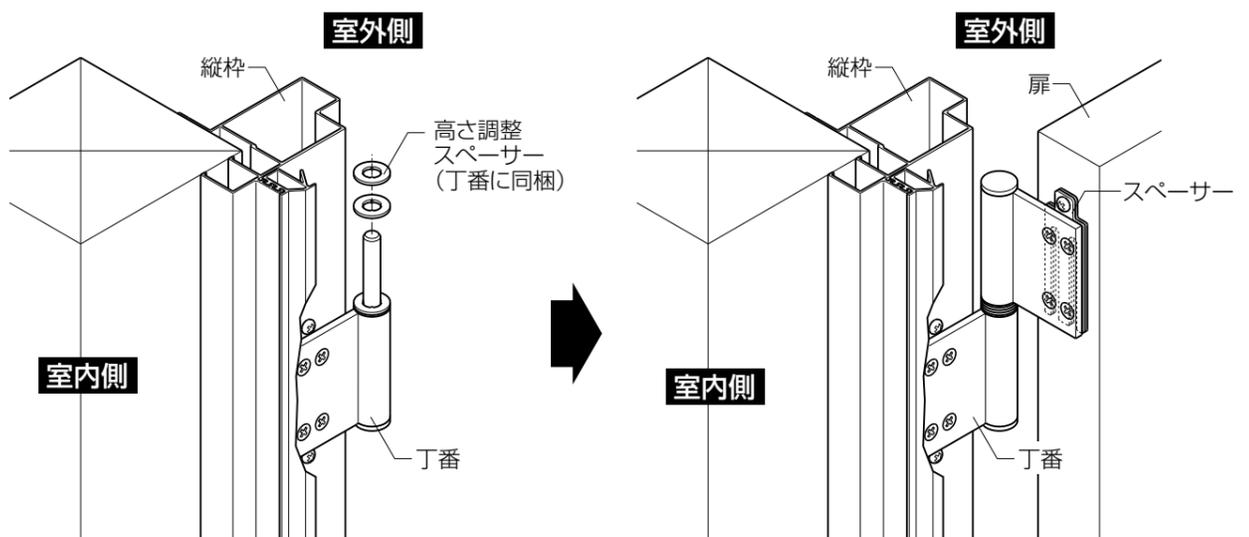
●本体側丁番取付けねじを全部外さないでください。



2 上下方向のすき間の調整

●ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。

※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。



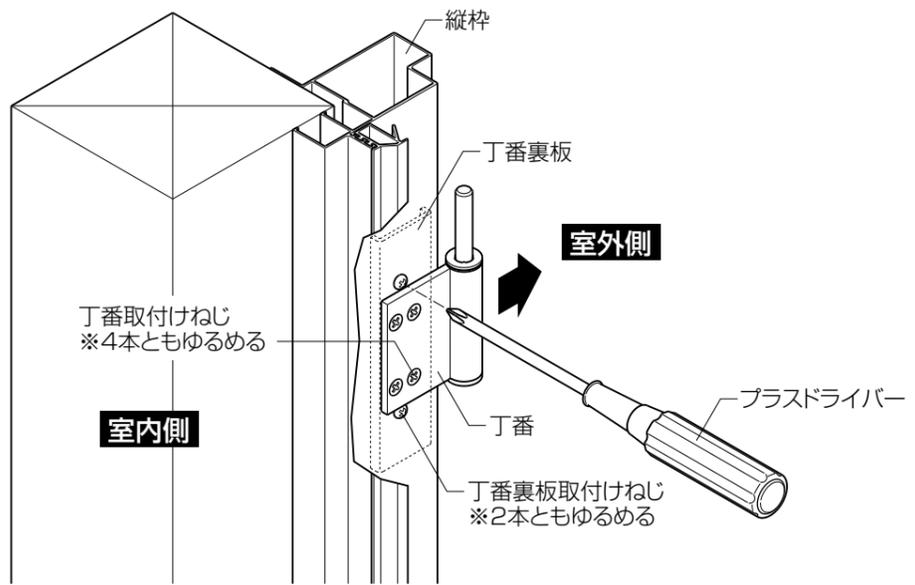
3 前後(室内・室外側)方向の調整

① ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

お願い
 ※取付けねじ全部を外さないでください。
 丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

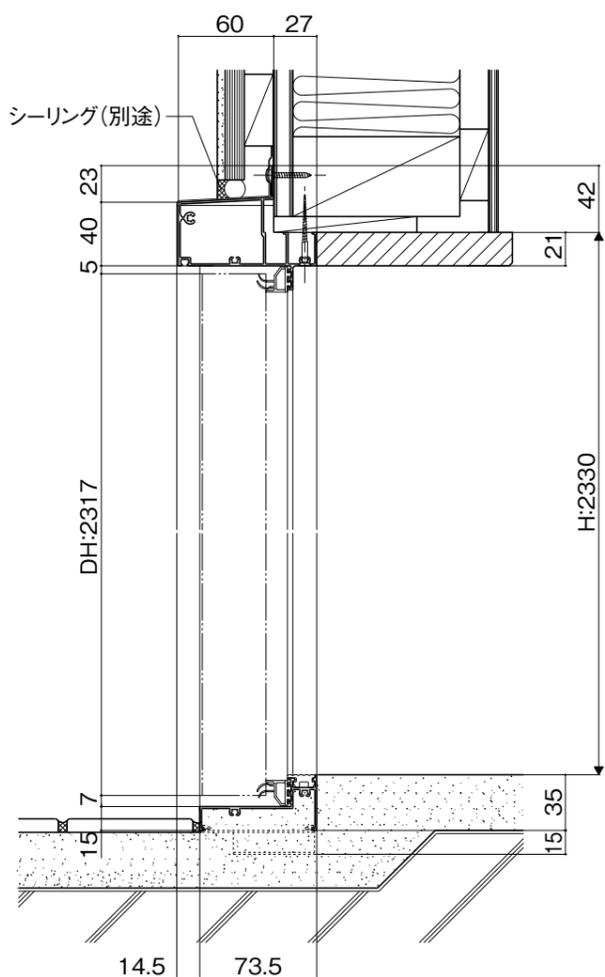
② 丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。

③ ①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

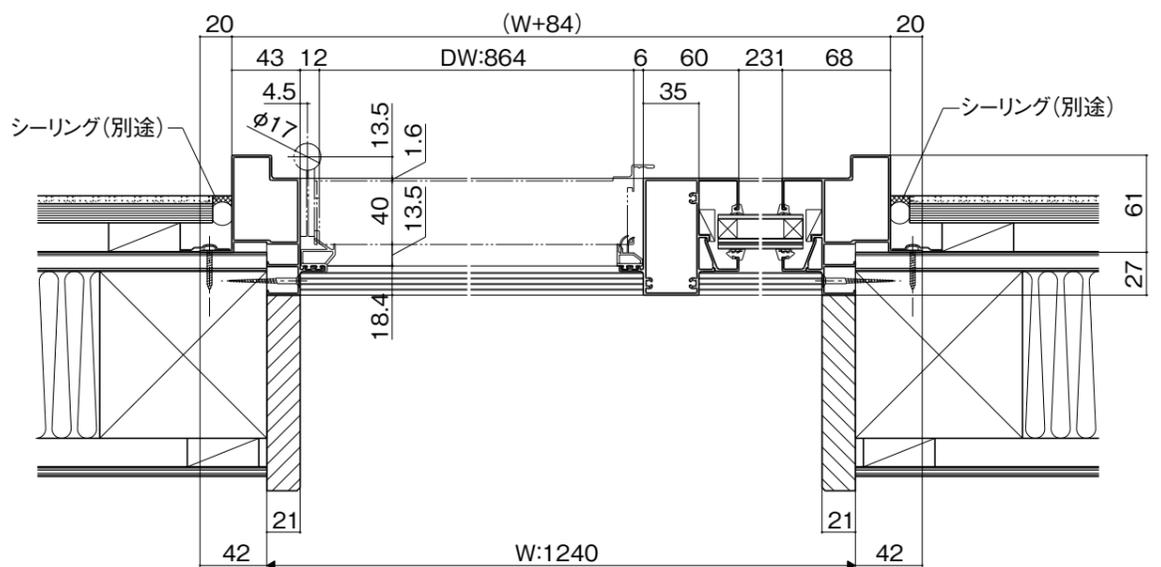


参考納まり図

縦断面図(K4仕様例)



横断面図(K4仕様例)



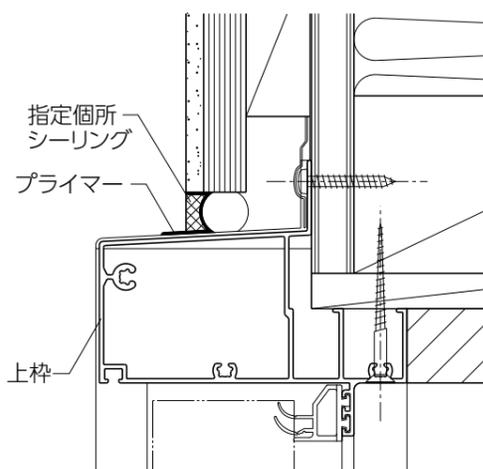
枠周りと壁のシーリング処理

● 枠周りの漏水防止のため、シーリング処理をします。

注意

- 指定個所にはシーリング処理をしてください。
- シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
- コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)
 (ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

上枠断面詳細図



縦枠断面詳細図

